

FUJITSU Server

PRIMEQUEST 1000 シリーズ

訂正・追記事項（正誤表）



PRIMEQUEST 1000 シリーズ マニュアル制限事項

2014/6/3

PRIMEQUEST1000 シリーズのマニュアルに関して、下記の制限事項があります。

No	項目	内 容
1	ServerView Update Management	PRIMEQUEST1000 シリーズでは SVUM (ServerView Update Manager) 関連の機能は利用できません。
2	IPv6 機能	PRIMEQUEST1000 シリーズでは IPv6 機能は現在利用できません。

1 『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 製品概説』 (C122-B022)正誤表

2014/6/3

本書の記述に誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

No	ページ	箇所	内 容							
1	Vi	略称	追加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>正式名</th> <th>略称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter</td> <td>Windows Windows Server 2012</td> </tr> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	正式名	略称	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Windows Server 2012	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	
正式名	略称									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Windows Server 2012									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard										
2	95	3.2 OS	誤	<p>■PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2012 Datacenter ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2012 Standard ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 SP1 Standard (64-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 SP1 Enterprise (64-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 SP1 Datacenter (64-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Standard (64-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Enterprise (64-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Datacenter (64-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Standard SP2 (32-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Enterprise SP2 (32-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Datacenter SP2 (32-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Standard SP2 (64-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Enterprise SP2 (64-bit) ・ Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Datacenter SP2 (64-bit) ・ Red Hat (R) Enterprise Linux (R) 6 (for x86) / (for Intel64) (*1) ・ Red Hat (R) Enterprise Linux (R) 5 (for x86) / (for Intel64) (*1) (*2) ・ VMware vSphere (R) 4 (*3) ・ VMware vSphere (R) 5 (*3) <p>*1 : サポート版数は、以下の URL を参照してください。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/os/linux/support/kernel/</p> <p>*2 : Red Hat (R) Enterprise Linux (R) 5.6 以降をサポートします。</p> <p>*3 : サポート版数は、以下の URL から「VMware 情報の VMware ESXi サポート版数一覧表 (PRIMEQUEST 機種別)」を参照してください。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/os/vmware</p>						

No	ページ	箇所	内 容
			<p>正</p> <ul style="list-style-type: none"> ■PRIMEQUEST 1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2 ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenter ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 SP1 Standard (64-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 SP1 Enterprise (64-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 SP1 Datacenter (64-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard (64-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise (64-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter (64-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard SP2 (32-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise SP2 (32-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Datacenter SP2 (32-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard SP2 (64-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise SP2 (64-bit) ・ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Datacenter SP2 (64-bit) ・ Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 6 (for x86) / (for Intel64) (*1) ・ Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5 (for x86) / (for Intel64) (*1) (*2) ・ VMware vSphere(R) 4 (*3) ・ VMware vSphere(R) 5 (*3) <p>*1 : サポート版数は、以下の URL を参照してください。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/os/linux/support/kernel/</p> <p>*2 : Red Hat(R) Enterprise Linux(R) 5.6 以降をサポートします。</p> <p>*3 : サポート版数は、以下の URL から「VMware 情報の VMware ESXi サポート版数一覧表 (PRIMEQUEST 機種別)」を参照してください。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/os/vmware</p>

2 『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 設置マニュアル』 (C122-H004)正誤表

2014/6/3

本書の記述に誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

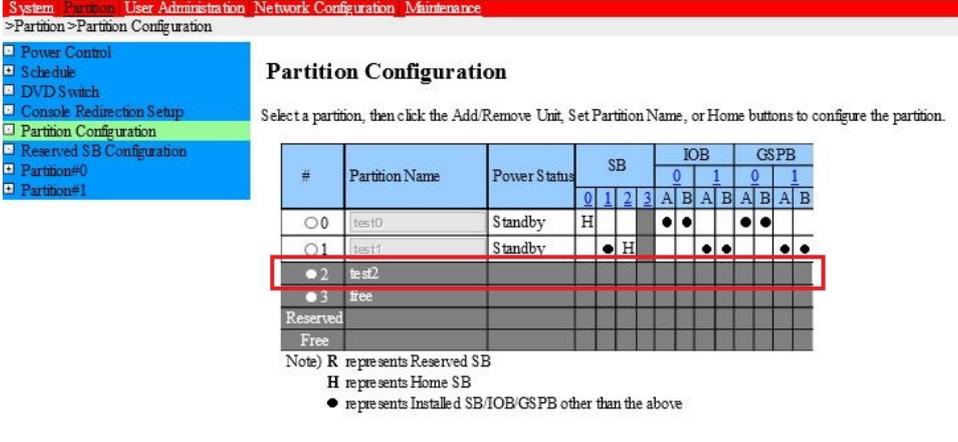
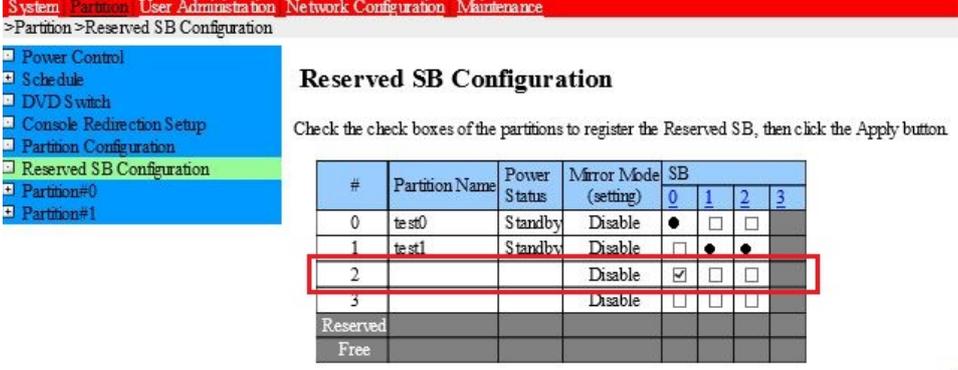
No	ページ	箇所	内 容							
1	Vi	略称	追加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>正式名</th> <th>略称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter</td> <td>Windows Windows Server 2012</td> </tr> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	正式名	略称	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Windows Server 2012	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	
正式名	略称									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Windows Server 2012									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard										

3 『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 導入マニュアル』 (C122-E109)正誤表

2020/9/29

本書の記述に誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

No	ページ	箇所	内 容	
1	107	4.8.4 ソフトウェアウォッチドッグの設定	誤	5. [ソフトウェア] 項目に次の設定を行い、[適用] ボタンをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> ・[有効] のチェックボックスをオン ・異常動作時の [アクション] に [継続稼動] を選択 ・[タイムアウト時間] に 1 ~ 100 分の間の値を入力
			正	5. [ソフトウェア] 項目に次の設定を行い、[適用] ボタンをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> ・[有効] のチェックボックスをオン ・異常動作時の [アクション] に [継続稼動] を選択 ・[タイムアウト時間] に 4 ~ 100 分の間の値を入力
2	111	4.9.4 ソフトウェアウォッチドッグの設定	誤	5. [ソフトウェア] 項目に次の設定を行い、[適用] ボタンをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> ・[有効] のチェックボックスをオン ・異常動作時の [アクション] に [継続稼動] を選択 ・[タイムアウト時間] に 1 ~ 100 分の間の値を入力
			正	5. [ソフトウェア] 項目に次の設定を行い、[適用] ボタンをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> ・[有効] のチェックボックスをオン ・異常動作時の [アクション] に [継続稼動] を選択 ・[タイムアウト時間] に 4 ~ 100 分の間の値を入力
3	31	3.3.6 MMB のネットワーク設定	追加	注意 <ul style="list-style-type: none"> ・仮想 IP アドレスを変更した場合： MMB Web-UI との接続が切断されます。MMB Web-UI を使用する場合は再度ログインする必要があります。 ・導入や移設などで Console Redirection IP アドレスを MMB の IP アドレス(物理 IP アドレス、仮想 IP アドレス)と異なるサブネットに設定する場合は、MMB の IP アドレス設定を実施した後に Console Redirection IP アドレス設定を実施してください。 Console Redirection IP アドレスを変更した後に MMB の IP アドレスの変更を実施した場合、REMCS センタに接続できなくなる場合があります。
4	56	3.4.6 Console Redirection の設定	追加	注意 <ul style="list-style-type: none"> ・インストール後、使用しない機能は Disable にしてください。 ・導入や移設などで Console Redirection IP アドレスを MMB の IP アドレス(物理 IP アドレス、仮想 IP アドレス)と異なるサブネットに設定する場合は、MMB の IP アドレス設定を実施した後に Console Redirection IP アドレス設定を実施してください。 Console Redirection IP アドレスを変更した後に MMB の IP アドレスの変更を実施した場合、REMCS センタに接続できなくなる場合があります。

No	ページ	箇所	内 容	
5	48	3.4.3 Reserved SB の設定	追加	<p>注意</p> <p>[Partition] - [Reserved SB Configuration] 画面では、存在しないパーティションにも Reserved SB を設定することができます。誤設定にご注意ください。Reserved SB が設定したいパーティションに正しく設定できているか確認してください。</p> <p>例： パーティション#2 に SB および IOU 資源が割り当てられていないケース。</p> <p>[Partition] - [Partition Configuration] 画面では、パーティション#2 は SB および IOU が割り当てられておらず、存在していません。</p>  <p>[Partition] - [Reserved SB Configuration] 画面では、SB#0 を存在しないパーティション#2 の Reserved SB として設定できます。</p> 

4 『PRIMEQUEST 1000 シリーズ ユーザーインターフェース操作説明書』 (C122-E109)正誤表

2014/6/3

本書の記述に誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

No	ページ	箇所	内 容							
1	Vi	略称	追加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>正式名</th> <th>略称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter</td> <td>Windows Windows Server 2012</td> </tr> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	正式名	略称	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Windows Server 2012	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	
正式名	略称									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Windows Server 2012									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard										

5 『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 運用管理マニュアル』 (C122-E108)正誤表

2015/9/16

本書の記述に誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

No	ページ	箇所	内 容							
1	Vi	略称	追加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>正式名</th> <th>略称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter</td> <td>Windows Windows Server 2012</td> </tr> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	正式名	略称	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Windows Server 2012	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	
正式名	略称									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Windows Server 2012									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard										
2	11	1.3.2 管理 LAN の構成方法 表 1.5 管理 LAN の構成要件 MMB-PSA IP Address	誤	IP Address/Subnet Mask/Gateway Address PSA-MMB 間 LAN の MMB 側 NIC を設定する。初期値は Enable で、IP Address が設定されている。MMB はパーティション間の通信は遮断する。						
			正	IP Address/Subnet Mask/Gateway Address PSA-MMB 間 LAN の MMB 側 NIC を設定する。初期値は Disable です。 MMB はパーティション間の通信は遮断する。						
3	70	3.3.7 PCI スロット内蔵ソリッドステートドライブの交換	追加	PCI スロット内蔵ソリッドステートドライブ交換時、OS ドライバとの整合性を確保するため、交換したカードの Firmware 版数を交換前カードの Firmware 版数に合わせる必要があります。このため、カード交換前に、現在使用中の OS ドライバ版数と、PCI スロット内蔵ソリッドステートドライブカードの Firmware 版数を確認して下さい(もしくは予め記録しておいて下さい)						
4	79	3.4 コンポーネントの増設 ■SB とイネーブルキットの組み合わせによるライセンス認証	誤	SB を Windows Server 2008 R2/2012 イネーブルキットと同時に購入した場合は、Windows ライセンス認証の手続きは不要です。別途購入した SB を Home SB とする場合は、Windows Server 2008 R2/2012 イネーブルキットを使用してもライセンス認証の手続きが必要になります。その場合は、Windows の画面の指示に従ってライセンス認証を行ってください。						
			正	SB を Windows Server 2008 R2/2012/ 2012 R2 イネーブルキットと同時に購入した場合は、Windows ライセンス認証の手続きは不要です。別途購入した SB を Home SB とする場合は、Windows Server 2008 R2/2012/ 2012 R2 イネーブルキットを使用してもライセンス認証の手続きが必要になります。その場合は、Windows の画面の指示に従ってライセンス認証を行ってください。						

No	ページ	箇所	内 容
5	103	4.3.1 故障したハードディスクの活性交換	<p>誤</p> <p>4.3.1 故障したハードディスクの活性交換 故障したハードディスクを交換するさいの作業の流れを説明します。 MMB の Web-UI の PSA 画面操作は、PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L の場合に行ってください。</p> <p>備考</p> <p>担当保守員がハードディスクの交換作業を行う場合は、4. から 6. の作業のみ行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ServerView RAID Manager を起動します。 2. ServerView RAID Manager のツリービューで、故障したハードディスクの搭載位置を確認します。 3. 本体装置のハードディスクの Alarm LED が点灯していることを確認します。 4. Alarm LED が点灯しているハードディスクを交換します。 5. MMB の Web-UI で該当パーティションの PSA 画面を開き、左メニューの「PCI Devices」を選択します。故障したハードディスクを管理しているアレイコントローラカードの Status が Error または Warning を示しているの、選択し「Status Clear」ボタンをクリックします。 6. ハードディスク交換後、スペアディスクの有無で以下の確認を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・スペアディスクが設定されていない場合 自動的にリビルドが実行され、ハードディスクの Alarm LED は点滅を開始します。ServerView RAID Manager 画面でリビルドの完了を待って、ハードディスクの Status が「Operational」になったことを確認します。 ・スペアディスクが設定されている場合 交換したハードディスクが自動的にスペアディスクになり、ハードディスクの Alarm LED が消灯します。ServerView RAID Manager 画面でハードディスクの Status が「Global Hot Spare」または「Dedicated Hot Spare」になっていることを確認してください。なお、リビルド完了後には、コピーバックが動作する場合があります。 7. ServerView RAID Manager を終了します。

No	ページ	箇所	内 容
			<p>正</p> <p>4.3.1 故障したハードディスクの活性交換 故障したハードディスクを交換するさいの作業の流れを説明します。 MMB の Web-UI の PSA 画面操作は、PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L の場合に行ってください。</p> <p>■RAID 0 構成の場合（パーティション停止交換） 備考 担当保守員がハードディスクの交換作業を行う場合は、3. の作業のみ行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 故障したハードディスクの搭載位置を確認します。 パーティションの電源を切断します。 故障しているハードディスクを交換します。 パーティションを起動し、Boot Manager フロントページから WebBIOS を起動します。 WebBIOS 起動後に Manage Preserved Cache メニューが表示されることがあります。 交換対象ハードディスクであることを確認して、「Discard Cache」を押下します。 WebBIOS でアレイ構成を作成します。 バックアップデータのリストアや OS の再インストールを行います。 <p>■RAID 1/RAID 1E/RAID 5/RAID 6/RAID 10 構成の場合（活性交換） RAID 1、RAID 1E、RAID 5、RAID 6、RAID 10 構成のハードディスクは活性交換が可能です。以下に作業の流れを説明します。</p> <p>備考 担当保守員がハードディスクの交換作業を行う場合は、4. から 6. の作業のみ行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ServerView RAID Manager を起動します。 ServerView RAID Manager のツリービューで、故障したハードディスクの搭載位置を確認します。 本体装置のハードディスクの Alarm LED が点灯していることを確認します。 Alarm LED が点灯しているハードディスクを交換します。 MMB の Web-UI で該当パーティションの PSA 画面を開き、左メニューの「PCI Devices」を選択します。故障したハードディスクを管理しているアレイコントローラカードの Status が Error または Warning を示しているのを、選択し「Status Clear」ボタンをクリックします。 ハードディスク交換後、スペアディスクの有無で以下の確認を行います。 <ul style="list-style-type: none"> スペアディスクが設定されていない場合 自動的にリビルドが実行され、ハードディスクの Alarm LED は点滅を開始します。 ServerView RAID Manager 画面でリビルドの完了を待って、ハードディスクの Status が「Operational」になったことを確認します。 スペアディスクが設定されている場合 交換したハードディスクが自動的にスペアディスクになり、ハードディスクの Alarm LED が消灯します。 ServerView RAID Manager 画面でハードディスクの Status が「Global Hot Spare」または「Dedicated Hot Spare」になっていることを確認してください。なお、リビルド完了後には、コピーバックが動作する場合があります。 ServerView RAID Manager を終了します。

No	ページ	箇所	内 容	
6	103	4.3.2 ハードディスクの予防交換	誤	<p>4.3.2 ハードディスクの予防交換</p> <p>S. M. A. R. T.により、故障する可能性が検出されたハードディスクを予防交換するさいの、作業の流れを説明します。</p> <p>■RAID 0 構成の場合（パーティション停止交換）</p> <p>RAID 0 構成のハードディスクの交換を行う場合は、パーティション停止保守になります。以下に作業の流れを説明します。</p> <p>備考</p> <p>担当保守員がハードディスクの交換作業を行う場合は、4. から 6. の作業のみ行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予防交換対象のハードディスクが接続されている、アレイコントローラーカード配下のすべてのハードディスクのデータをバックアップします。 2. ServerView RAID Manager を起動します。 3. ServerView RAID Manager で、S. M. A. R. T. による故障予測が発生しているハードディスクを選択し搭載位置を確認します。 4. ほかのハードディスクが故障していないか確認します。故障している場合は先に交換します。 5. パーティションを再起動し、Boot Manager フロントページから WebBIOS を起動します。 6. WebBIOSで予防交換対象のハードディスクが接続されたアレイコントローラーカードを選択し、「Clear Configuration」を実行し、ハードディスク上のデータを消去します。 7. データの消去が完了したら、WebBIOSを終了しパーティションの電源を切断します。 8. 故障予測が検出されたハードディスクを交換します。 9. パーティションを起動し、Boot Manager フロントページから WebBIOS を起動します。 10. WebBIOS でアレイ構成を作成します。 11. バックアップデータのリストアや OS の再インストールを行います。
			正	<p>4.3.2 ハードディスクの予防交換</p> <p>S. M. A. R. T.により、故障する可能性が検出されたハードディスクを予防交換するさいの、作業の流れを説明します。</p> <p>■RAID 0 構成の場合（パーティション停止交換）</p> <p>RAID 0 構成のハードディスクの交換を行う場合は、パーティション停止保守になります。以下に作業の流れを説明します。</p> <p>備考</p> <p>担当保守員がハードディスクの交換作業を行う場合は、8. の作業のみ行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予防交換対象のハードディスクのデータをバックアップします。 2. ServerView RAID Manager を起動します。 3. ServerView RAID Manager で、S. M. A. R. T. による故障予測が発生しているハードディスクを選択し搭載位置を確認します。 4. パーティションの電源を切断します。 5. パーティションを起動し、Boot Manager フロントページから WebBIOS を起動します。 6. WebBIOS で予防交換対象のハードディスクを選択し、パーティションの電源を切断し、「Delete」を実行し、ハードディスク上の RAID 構成情報を消去します。 7. WebBIOS を終了しパーティションの電源を切断します。 8. 故障予測が検出されたハードディスクを交換します。 9. パーティションを起動し、Boot Manager フロントページから WebBIOS を起動します。 10. WebBIOS でアレイ構成を作成します。 11. バックアップデータのリストアや OS の再インストールを行います。

No	ページ	箇所	内 容	
7	111 158 209	5.1.3 6.1.3 7.4 FC カード（ファイバーチャネルカード）の交換手順	追加	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FCカードを活性交換後にFCカードのファームウェアアップデートが必要になった場合は、以下のURLから『ファイバーチャネルカード活性保守後のファームウェア・ブートコードアップデート手順』をダウンロードし参照してください。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/download/1000/bios.html#fc
8	252	9.6.1 リモートシャットダウンの前提条件	誤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理端末のOS が以下のいずれかであること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows XP ・ Windows Vista ・ Windows Server 2003 ・ Windows Server 2003 R2 ・ Windows Server 2008 ・ Windows Server 2008 R2 ・ Windows 7 ・ Windows Server 2012 ・ Windows 8
			正	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理端末のOS が以下のいずれかであること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows XP ・ Windows Vista ・ Windows Server 2003 ・ Windows Server 2003 R2 ・ Windows Server 2008 ・ Windows Server 2008 R2 ・ Windows 7 ・ Windows Server 2012 ・ Windows Server 2012 R2 ・ Windows 8 ・ Windows 8.1

No	ページ	箇所	内 容															
9	294	11.4.4 ダンプ環境の設定 (Windows)	<p>誤</p> <p>■メモリダンプで取得できる情報の違い PRIMEQUEST 1000 シリーズで設定可能なメモリダンプは以下の 4 種類です。それぞれ取得できる情報が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全メモリダンプ システムが停止したときの物理メモリの内容をすべて記録します。ブートボリュームに物理メモリのサイズ+ 1MB 程度の空き容量が必要です。保存できるダンプは 1 回分のみです。指定した保存先にすでにダンプファイルが存在した場合、上書きします。 ・カーネルメモリダンプ カーネルメモリ空間のみの情報が記録されます。目安として、ブートボリュームに 150MB ~ 2GB のダンプファイルが作成されます。サイズは使用状況によって変動します。保存できるダンプは 1 回分のみです。指定した保存先にすでにダンプファイルが存在した場合、上書きします。 ・最小メモリダンプ 問題の識別に役立つ最小限の情報が記録されます。64KB または 128KB の空き容量が必要です。 このオプションを指定した場合、システムが予期せず停止するごとに、新しいファイルを作成します。 ・自動メモリダンプ Windows Server 2012 から選択可能となったダンプです。Windows Server 2012 ではデフォルトで「自動メモリダンプ」設定となっています。従来のカーネルメモリダンプと同等の情報を記録します。カーネルメモリダンプとの違いは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ページングファイルサイズの初期値が小さく設定される。 ・カーネル空間の情報をすべて記録できなかった場合、次回起動時にページファイルサイズが自動で拡張される。ただし、カーネル空間の情報をすべて記録できなかった場合のメモリダンプ取得は失敗する可能性がある。 <table border="1" data-bbox="549 1296 1442 1565"> <thead> <tr> <th>メモリダンプの種類</th> <th colspan="2">メモリダンプファイルサイズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完全メモリダンプ</td> <td>物理メモリサイズ+1MB(*1)</td> <td>上書き(*2)</td> </tr> <tr> <td>カーネルメモリダンプ</td> <td>OS 稼動時のメモリ空間に依存 (150MB ~ 2GB 程度)</td> <td>上書き(*2)</td> </tr> <tr> <td>最小メモリダンプ</td> <td>64KB または 128KB</td> <td>新規ファイル作成</td> </tr> <tr> <td>自動メモリダンプ</td> <td>OS 稼動時のメモリ空間に依存 (150MB ~ 2GB 程度)</td> <td>上書き(*2)</td> </tr> </tbody> </table>	メモリダンプの種類	メモリダンプファイルサイズ		完全メモリダンプ	物理メモリサイズ+1MB(*1)	上書き(*2)	カーネルメモリダンプ	OS 稼動時のメモリ空間に依存 (150MB ~ 2GB 程度)	上書き(*2)	最小メモリダンプ	64KB または 128KB	新規ファイル作成	自動メモリダンプ	OS 稼動時のメモリ空間に依存 (150MB ~ 2GB 程度)	上書き(*2)
メモリダンプの種類	メモリダンプファイルサイズ																	
完全メモリダンプ	物理メモリサイズ+1MB(*1)	上書き(*2)																
カーネルメモリダンプ	OS 稼動時のメモリ空間に依存 (150MB ~ 2GB 程度)	上書き(*2)																
最小メモリダンプ	64KB または 128KB	新規ファイル作成																
自動メモリダンプ	OS 稼動時のメモリ空間に依存 (150MB ~ 2GB 程度)	上書き(*2)																

No	ページ	箇所	内 容																
			正	<p>■メモリダンプで取得できる情報の違い</p> <p>PRIMEQUEST 1000 シリーズで設定可能なメモリダンプは以下の 4 種類です。それぞれ取得できる情報が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全メモリダンプ システムが停止したときの物理メモリの内容をすべて記録します。ブートボリュームに物理メモリのサイズ+ 300MB 程度の空き容量が必要です。保存できるダンプは 1 回分のみです。指定した保存先にすでにダンプファイルが存在した場合、上書きします。 ・カーネルメモリダンプ カーネルメモリ空間のみの情報が記録されます。カーネルメモリダンプの最大サイズは、32 ビット版 Windows では 2GB、64 ビット版 Windows では 8TB になります。サイズは使用状況によって変動します。保存できるダンプは 1 回分のみです。指定した保存先にすでにダンプファイルが存在した場合、上書きします。 ・最小メモリダンプ 問題の識別に役立つ最小限の情報が記録されます。128KB または 256KB の空き容量が必要です。 このオプションを指定した場合、システムが予期せず停止するごとに、新しいファイルを作成します。 ・自動メモリダンプ Windows Server 2012 から選択可能となったダンプです。Windows Server 2012 以降ではデフォルトで「自動メモリダンプ」設定となっています。従来のカーネルメモリダンプと同等の情報を記録します。カーネルメモリダンプとの違いは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ページングファイルサイズの初期値が小さく設定される。 ・カーネル空間の情報をすべて記録できなかった場合、次回起動時にページファイルサイズが自動で拡張される。ただし、カーネル空間の情報をすべて記録できなかった場合のメモリダンプ取得は失敗する可能性がある。 <table border="1" data-bbox="549 1308 1442 1727"> <thead> <tr> <th>メモリダンプの種類</th> <th colspan="2">メモリダンプファイルサイズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完全メモリダンプ</td> <td>物理メモリサイズ+300MB(*1)</td> <td>上書き(*2)</td> </tr> <tr> <td>カーネルメモリダンプ</td> <td>OS 稼動時のメモリ空間に依存 (32 ビット版 Windows は最大 2GB、64 ビット版 Windows は最大 8TB)</td> <td>上書き(*2)</td> </tr> <tr> <td>最小メモリダンプ</td> <td>32 ビット版 Windows は最大 128KB、64 ビット版 Windows は最大 256KB</td> <td>新規ファイル作成</td> </tr> <tr> <td>自動メモリダンプ</td> <td>OS 稼動時のメモリ空間に依存 (最大 8TB)</td> <td>上書き(*2)</td> </tr> </tbody> </table>	メモリダンプの種類	メモリダンプファイルサイズ		完全メモリダンプ	物理メモリサイズ+300MB(*1)	上書き(*2)	カーネルメモリダンプ	OS 稼動時のメモリ空間に依存 (32 ビット版 Windows は最大 2GB、64 ビット版 Windows は最大 8TB)	上書き(*2)	最小メモリダンプ	32 ビット版 Windows は最大 128KB、64 ビット版 Windows は最大 256KB	新規ファイル作成	自動メモリダンプ	OS 稼動時のメモリ空間に依存 (最大 8TB)	上書き(*2)
メモリダンプの種類	メモリダンプファイルサイズ																		
完全メモリダンプ	物理メモリサイズ+300MB(*1)	上書き(*2)																	
カーネルメモリダンプ	OS 稼動時のメモリ空間に依存 (32 ビット版 Windows は最大 2GB、64 ビット版 Windows は最大 8TB)	上書き(*2)																	
最小メモリダンプ	32 ビット版 Windows は最大 128KB、64 ビット版 Windows は最大 256KB	新規ファイル作成																	
自動メモリダンプ	OS 稼動時のメモリ空間に依存 (最大 8TB)	上書き(*2)																	
10	297	11.4.4 ダンプ環境の設定 (Windows) ■メモリダンプの設定方法	誤	< Windows Server 2012 の場合 >															
			正	< Windows Server 2012/2012 R2 の場合 >															

No	ページ	箇所	内 容																									
11	301	11.4.4 ダンプ環境の設定 (Windows) ■ ページ ングファ イルの設定	誤	< Windows Server 2012 の場合 >																								
			正	< Windows Server 2012/2012 R2 の場合 >																								
12	348	G.1 CPU	誤	表 G.1 OS 別 x2APIC 対応表 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>OS</th> <th>x2APIC の設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Windows Server 2008</td> <td>Disabled (*2)</td> </tr> <tr> <td>Windows Server 2008 R2</td> <td>Enabled (SP1 以降の場合) (*1) Enabled (SP 未適用の場合) (*2)</td> </tr> <tr> <td>Windows Server 2012</td> <td>Enabled</td> </tr> <tr> <td>RHEL5</td> <td>Disabled</td> </tr> <tr> <td>RHEL6 (for Intel64)</td> <td>Enabled</td> </tr> <tr> <td>RHEL6 (for x86)</td> <td>Disabled</td> </tr> <tr> <td>ESX 4. x</td> <td>Disabled</td> </tr> <tr> <td>ESXi 5. x</td> <td>Enabled</td> </tr> <tr> <td>Hyper-V</td> <td>Disabled</td> </tr> <tr> <td>Xen</td> <td>Disabled</td> </tr> <tr> <td>KVM</td> <td>Enabled</td> </tr> </tbody> </table>	OS	x2APIC の設定	Windows Server 2008	Disabled (*2)	Windows Server 2008 R2	Enabled (SP1 以降の場合) (*1) Enabled (SP 未適用の場合) (*2)	Windows Server 2012	Enabled	RHEL5	Disabled	RHEL6 (for Intel64)	Enabled	RHEL6 (for x86)	Disabled	ESX 4. x	Disabled	ESXi 5. x	Enabled	Hyper-V	Disabled	Xen	Disabled	KVM	Enabled
			OS	x2APIC の設定																								
Windows Server 2008	Disabled (*2)																											
Windows Server 2008 R2	Enabled (SP1 以降の場合) (*1) Enabled (SP 未適用の場合) (*2)																											
Windows Server 2012	Enabled																											
RHEL5	Disabled																											
RHEL6 (for Intel64)	Enabled																											
RHEL6 (for x86)	Disabled																											
ESX 4. x	Disabled																											
ESXi 5. x	Enabled																											
Hyper-V	Disabled																											
Xen	Disabled																											
KVM	Enabled																											
正	表 G.1 OS 別 x2APIC 対応表 (PRIMEQUEST 1800E2/1800L2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>OS</th> <th>x2APIC の設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Windows Server 2008</td> <td>Disabled (*2)</td> </tr> <tr> <td>Windows Server 2008 R2</td> <td>Enabled (SP1 以降の場合) (*1) Enabled (SP 未適用の場合) (*2)</td> </tr> <tr> <td>Windows Server 2012</td> <td>Enabled</td> </tr> <tr> <td>Windows Server 2012 R2</td> <td>Enabled</td> </tr> <tr> <td>RHEL5</td> <td>Disabled</td> </tr> <tr> <td>RHEL6 (for Intel64)</td> <td>Enabled</td> </tr> <tr> <td>RHEL6 (for x86)</td> <td>Disabled</td> </tr> <tr> <td>ESX 4. x</td> <td>Disabled</td> </tr> <tr> <td>ESXi 5. x</td> <td>Enabled</td> </tr> <tr> <td>Hyper-V</td> <td>Disabled</td> </tr> <tr> <td>Xen</td> <td>Disabled</td> </tr> <tr> <td>KVM</td> <td>Enabled</td> </tr> </tbody> </table>	OS	x2APIC の設定	Windows Server 2008	Disabled (*2)	Windows Server 2008 R2	Enabled (SP1 以降の場合) (*1) Enabled (SP 未適用の場合) (*2)	Windows Server 2012	Enabled	Windows Server 2012 R2	Enabled	RHEL5	Disabled	RHEL6 (for Intel64)	Enabled	RHEL6 (for x86)	Disabled	ESX 4. x	Disabled	ESXi 5. x	Enabled	Hyper-V	Disabled	Xen	Disabled	KVM	Enabled	
OS	x2APIC の設定																											
Windows Server 2008	Disabled (*2)																											
Windows Server 2008 R2	Enabled (SP1 以降の場合) (*1) Enabled (SP 未適用の場合) (*2)																											
Windows Server 2012	Enabled																											
Windows Server 2012 R2	Enabled																											
RHEL5	Disabled																											
RHEL6 (for Intel64)	Enabled																											
RHEL6 (for x86)	Disabled																											
ESX 4. x	Disabled																											
ESXi 5. x	Enabled																											
Hyper-V	Disabled																											
Xen	Disabled																											
KVM	Enabled																											

No	ページ	箇所	内 容																																																																																						
13	66	3.3.1 交換可能なコンポーネント	追加	<p>表 3.5 交換可能なコンポーネントの一覧と交換条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">コンポーネント名称</th> <th>AC 電源 オフ (装置停止)</th> <th>AC 電源 オン 全パーティ ション オフ (活電保守)</th> <th>AC 電源 オン 対象パーテ ィション オフ (活電保守)</th> <th>AC 電源 オン 対象パーテ ィション オン (活性保守)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">省略</td> </tr> <tr> <td>IOB</td> <td>PCI Express カード(*13)</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可 (*1, *5, *6, *12)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">GSPB</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可(*4)</td> <td>交換不可</td> </tr> <tr> <td colspan="2">SAS ディスクユニット (*7)</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換不可</td> </tr> <tr> <td>SAS ディ スク ユ ニ ツ ト</td> <td>HDD</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可(*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">SAS アレ ィ ディ スク ユ ニ ツ ト (*13)</td> <td>BBU (*8)</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換不可</td> </tr> <tr> <td>HDD</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">省略</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">PCI ボッ クス</td> <td>IO_PSU</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可(*2)</td> <td>交換可(*2)</td> </tr> <tr> <td>IO_FAN</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> </tr> <tr> <td colspan="2">PEXU</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換不可</td> </tr> <tr> <td>PEXU</td> <td>PCI Express カード (*13)</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可</td> <td>交換可 (*1, *5, *6, *12)</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">省略</td> </tr> </tbody> </table> <p>*13 : SAS アレイディスクユニット/SAS アレイコントローラカードを交換した場合、コントローラの設定が初期値に戻ります。 初期値より設定を変更する場合は、必ずその設定を控えてください。 故障などにより SAS アレイディスクユニット/SAS アレイコントローラを交換した場合は、変更した設定を元に戻してください。 また、設定については別紙「SAS アレイディスクユニット/SAS アレイコントローラの設定について」(CA97232-0150)も併せて参照してください。</p>				コンポーネント名称		AC 電源 オフ (装置停止)	AC 電源 オン 全パーティ ション オフ (活電保守)	AC 電源 オン 対象パーテ ィション オフ (活電保守)	AC 電源 オン 対象パーテ ィション オン (活性保守)	省略						IOB	PCI Express カード(*13)	交換可	交換可	交換可	交換可 (*1, *5, *6, *12)	GSPB		交換可	交換可	交換可(*4)	交換不可	SAS ディスクユニット (*7)		交換可	交換可	交換可	交換不可	SAS ディ スク ユ ニ ツ ト	HDD	交換可	交換可	交換可	交換可(*1)	SAS アレ ィ ディ スク ユ ニ ツ ト (*13)	BBU (*8)	交換可	交換可	交換可	交換不可	HDD	交換可	交換可	交換可	交換可	省略						PCI ボッ クス	IO_PSU	交換可	交換可	交換可(*2)	交換可(*2)	IO_FAN	交換可	交換可	交換可	交換可	PEXU		交換可	交換可	交換可	交換不可	PEXU	PCI Express カード (*13)	交換可	交換可	交換可	交換可 (*1, *5, *6, *12)	省略					
コンポーネント名称		AC 電源 オフ (装置停止)	AC 電源 オン 全パーティ ション オフ (活電保守)	AC 電源 オン 対象パーテ ィション オフ (活電保守)	AC 電源 オン 対象パーテ ィション オン (活性保守)																																																																																				
省略																																																																																									
IOB	PCI Express カード(*13)	交換可	交換可	交換可	交換可 (*1, *5, *6, *12)																																																																																				
GSPB		交換可	交換可	交換可(*4)	交換不可																																																																																				
SAS ディスクユニット (*7)		交換可	交換可	交換可	交換不可																																																																																				
SAS ディ スク ユ ニ ツ ト	HDD	交換可	交換可	交換可	交換可(*1)																																																																																				
SAS アレ ィ ディ スク ユ ニ ツ ト (*13)	BBU (*8)	交換可	交換可	交換可	交換不可																																																																																				
	HDD	交換可	交換可	交換可	交換可																																																																																				
省略																																																																																									
PCI ボッ クス	IO_PSU	交換可	交換可	交換可(*2)	交換可(*2)																																																																																				
	IO_FAN	交換可	交換可	交換可	交換可																																																																																				
	PEXU		交換可	交換可	交換可	交換不可																																																																																			
	PEXU	PCI Express カード (*13)	交換可	交換可	交換可	交換可 (*1, *5, *6, *12)																																																																																			
省略																																																																																									

No	ページ	箇所	内 容	
14	87	3.6.2 故障したSBを保守交換した後の処理	誤	<p>5. 交換したSBをパーティションに組み込みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> [Partition] - [Partition Configuration] - [Add Unit] ボタンをクリックします。[Add SB/IOB/GSPB to Partition] 画面が表示されます。 交換したSBのラジオボタンをクリックして、[Apply] ボタンをクリックします。交換したSBがパーティションに組み込まれます。 <p>6. 元ReservedSBをReservedSBに戻します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [Partition] - [Partition Configuration] - [Remove Unit] ボタンをクリックします。[Remove SB/IOB/GSPB from Partition] 画面が表示されます。 元ReservedSBのラジオボタンをクリックして [Apply] ボタンをクリックします。元ReservedSBがパーティションから切り離され、フリー状態になります。 [Partition] - [Reserved SB Configuration] をクリックします。[Reserved SB Configuration] 画面で、上記2) でフリー状態に設定したSBのチェックボックスをオンにして、予備対象にするパーティションを選択し、[Apply] ボタンをクリックします。予備対象にするパーティションが複数ある場合は同時に選択して [Apply] ボタンをクリックします。
			正	<p>5. 元ReservedSBをReservedSBに戻します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [Partition] - [Partition Configuration] - [Remove Unit] ボタンをクリックします。[Remove SB/IOB/GSPB from Partition] 画面が表示されます。 元ReservedSBのラジオボタンをクリックして [Apply] ボタンをクリックします。元ReservedSBがパーティションから切り離され、フリー状態になります。 [Partition] - [Reserved SB Configuration] をクリックします。[Reserved SB Configuration] 画面で、上記2) でフリー状態に設定したSBのチェックボックスをオンにして、予備対象にするパーティションを選択し、[Apply] ボタンをクリックします。予備対象にするパーティションが複数ある場合は同時に選択して [Apply] ボタンをクリックします。 <p>6. 交換したSBをパーティションに組み込みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> [Partition] - [Partition Configuration] - [Add Unit] ボタンをクリックします。[Add SB/IOB/GSPB to Partition] 画面が表示されます。 交換したSBのラジオボタンをクリックして、[Apply] ボタンをクリックします。交換したSBがパーティションに組み込まれます。

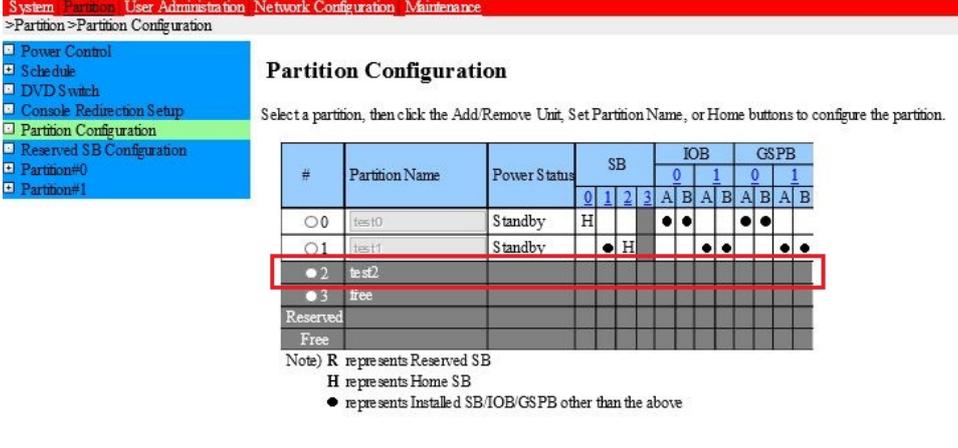
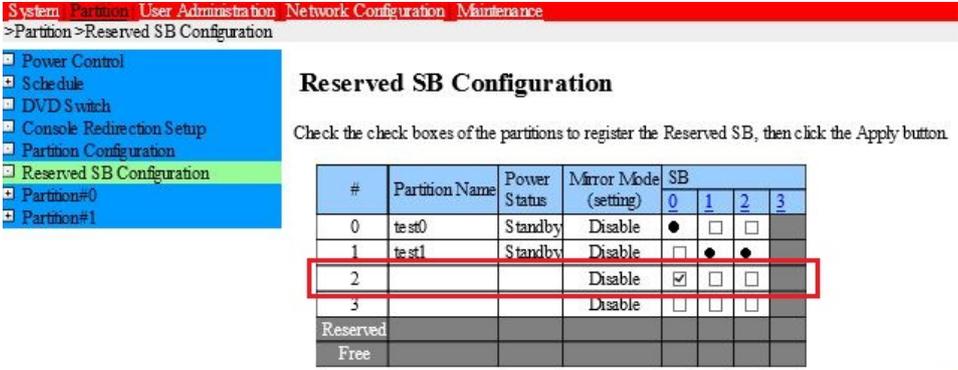
6 『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス』 (C122-E110)正誤表

2020/9/29

本書の記述に誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

No.	ページ	箇所	内 容							
1	Vi	略称	追加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>正式名</th> <th>略称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter</td> <td>Windows Server 2012</td> </tr> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	正式名	略称	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	
正式名	略称									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard										
2	193	1.5.8 [SSH] メニュー ■ [Create SSH Server Key]画面	追加	<p>[Create SSH Server Key]画面では、SSH サーバのプライベートキーを作成できます。</p> <p>- Private Key を作成することにより SSH クライアントがサーバ(MMB)に接続する際(初回ログイン時)に MMB が正当なホストであることの確認が行われます。</p>						
3	142	1.3.6 [Console Redirection Setup]画面	追加	<p>(2) 画面操作</p> <ol style="list-style-type: none"> IP アドレス、サブネットマスクを入力し、ビデオリダイレクション、リモートストレージ、テキストコンソールリダイレクションを使用するかどうかを設定します。 [Apply] ボタンをクリックします。 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入や移設などで Console Redirection IP アドレスを MMB の IP アドレス(物理 IP アドレス、仮想 IP アドレス)と異なるサブネットに設定する場合は、MMB の IP アドレス設定を実施した後に Console Redirection IP アドレス設定を実施してください。Console Redirection IP アドレスを変更した後に MMB の IP アドレスの変更を実施した場合、REMCS センタに接続できなくなる場合があります。 						
4	144	1.3.6 [Console Redirection Setup]画面	追加	<p>(2) 画面操作</p> <ol style="list-style-type: none"> IP アドレス、プレフィックス長を入力し、ビデオリダイレクション、リモートストレージ、テキストコンソールリダイレクションを使用するかどうかを設定します。 [Apply] ボタンをクリックします。 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入や移設などで Console Redirection IP アドレスを MMB の IP アドレス(物理 IP アドレス、仮想 IP アドレス)と異なるサブネットに設定する場合は、MMB の IP アドレス設定を実施した後に Console Redirection IP アドレス設定を実施してください。Console Redirection IP アドレスを変更した後に MMB の IP アドレスの変更を実施した場合、REMCS センタに接続できなくなる場合があります。 						

No.	ページ	箇所	内 容	
5	168	1.5.2 [Network Interfac e] 画面	追加	<p>(2) 画面操作</p> <p>1. ネットワークインターフェース情報を設定するため、サブネットマスク、IP アドレスなどを選択／入力し、[Apply] ボタンをクリックします。 指定した IP アドレス、サブネットマスクなどが設定されます。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入や移設などで Console Redirection IP アドレスを MMB の IP アドレス (物理 IP アドレス、仮想 IP アドレス) と異なるサブネットに設定する場合は、MMB の IP アドレス設定を実施した後に Console Redirection IP アドレス設定を実施してください。Console Redirection IP アドレスを変更した後に MMB の IP アドレスの変更を実施した場合、REMCS センタに接続できなくなる場合があります。
6	172	1.5.2 [Network Interfac e] 画面	追加	<p>(2) 画面操作</p> <p>1. ネットワークインターフェース情報を設定するため、IP アドレスなどを選択／入力し、[Apply] ボタンをクリックします。 指定した IP アドレスなどが設定されます。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入や移設などで Console Redirection IP アドレスを MMB の IP アドレス (物理 IP アドレス、仮想 IP アドレス) と異なるサブネットに設定する場合は、MMB の IP アドレス設定を実施した後に Console Redirection IP アドレス設定を実施してください。Console Redirection IP アドレスを変更した後に MMB の IP アドレスの変更を実施した場合、REMCS センタに接続できなくなる場合があります。

No.	ページ	箇所	内 容	
7	138	1.3.5 [Reserved SB Configuration] 画面	追加	<p>注意</p> <p>[Partition] - [Reserved SB Configuration] 画面では、存在しないパーティションにも Reserved SB を設定することができます。誤設定にご注意ください。Reserved SB が設定したいパーティションに正しく設定できているか確認してください。</p> <p>例：パーティション#2 に SB および IOU 資源が割り当てられていないケース。</p> <p>[Partition] - [Partition Configuration] 画面では、パーティション#2 は SB および IOU が割り当てられておらず、存在していません。</p>  <p>[Partition] - [Reserved SB Configuration] 画面では、SB#0 を存在しないパーティション#2 の Reserved SB として設定できます。</p> 

7 『PRIMEQUEST 1000 シリーズ メッセージリファレンス』 (C122-E111)正誤表

2015/1/14

本書の記述に誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

No.	ページ	箇所	内 容							
1	Vi	略称	追加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>正式名</th> <th>略称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter</td> <td>Windows Server 2012</td> </tr> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard</td> <td>Windows</td> </tr> </tbody> </table>	正式名	略称	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	Windows
正式名	略称									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Server 2012									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	Windows									
2	215	3.1.6 LAN 関連メッセージ [Linux]	誤	<p>11000 ethx Transmit timed out vendor-id=%vi device-id=%d revision=%r 意味： 送信タイムアウトが発生しました。 %vi：例 8086 %d：例 1209 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： 本メッセージを出力したデバイスを通じて通信可能かどうかをチェックします。通信可能な状態であれば対処の必要性はありません。 通信不可の状態となった場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取したうえで、アダプターを交換してください。 Severity： Warning アクション： (/ /T/S)</p>						
			正	<p>11000 ethx Transmit timed out vendor-id=%vi device-id=%d revision=%r 意味： 送信タイムアウトが発生しました。 %vi：例 8086%d：例 1209 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： 本メッセージを出力したデバイスを通じて通信可能かどうかをチェックします。通信可能な状態であれば対処の必要性はありません。 通信不可の状態となった場合には、調査資料 (ダンプ、ログなど) を採取したうえで、アダプターを交換してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S) ただし、PSA2.10.0/SVagentV5.30以降は (/ /T/S)</p>						

No.	ページ	箇所	内 容	
3	238	3.1.6 LAN 関連 メッセージ [Linux] ■ igb 関連	追加	11740 igb:xxx:xx:xx.x Adapter error (Link Speed was downgraded by SmartSpeed) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r 意味： SmartSpeedにより、リンク速度が低下しました。 対処： LAN ケーブルの劣化・破損の可能性があります。LAN ケーブルを交換してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)
4	247	3.1.6 LAN 関連 メッセージ [Linux] ■ ixgbe 関連	誤	11830 ixgbe:Adapter error (Error receiving msg from VF) 意味： VF からのメッセージを受信できません。 対処： アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。 同一種類のアダプターが複数ある場合は、PSA Web-UI の表示と実装を比較し、実装されているのに表示がないものを確認し、交換してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)
			正	11830 ixgbe:Adapter error (Error receiving msg from VF) 意味： VF からのメッセージを受信できません。 対処： アダプター故障と考えられます。アダプターを交換してください。 同一種類のアダプターが複数ある場合は、PSA Web-UI の表示と実装を比較し、実装されているのに表示がないものを確認し、交換してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S) ただし、PSA2.18.0/SVagentV6.31以降は (/ /T/S)

No.	ページ	箇所	内 容	
5	252	3.1.6 LAN 関連 メッセー ジ [Linux] ■ ixgbe 関連	追加	11848 ixgbe:xxxx:xx:xx.x Adapter error (EEPROM read error) vendor-id=8086 device-id=%d revision=%r 意味： EEPROM のオフセットの読み込みに失敗しました。 対処： アダプタ故障と考えられるため、アダプタを交換してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)
6	553	3.1.20 ServerVi ew RAID 関連メッ セージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	28716 SV RAID:%2 Adapter error (Internal error) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： 内部異常です。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： 再発する場合は、調査資料 (fjsnap、PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担 当営業員に連絡してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)
			正	SV RAID:%2 Adapter error (Internal error) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： 内部異常です。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： 当該カードを交換してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)

No.	ページ	箇所	内 容	
7	554	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28717 SV RAID:%2 Adapter error (Incompatible PCI slot bandwidth) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： PCI スロットの帯域幅が対応していません。 %2：デバイス名 %v：例.1000 %d：例.0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) (R/M/T/S) 対処： 調査資料 (fjsnap、PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28717 SV RAID:%2 Adapter error (Incompatible PCI slot bandwidth) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： PCI スロットの帯域幅が対応していません。 %2：デバイス名 %v：例.1000 %d：例.0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) (R/M/T/S) 対処： 当該カードを交換してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
8	554	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28718 SV RAID:%2 Adapter error (Write performance reduced) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味： 書き込み性能が低下しました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 調査資料 (fjsnap、PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28718 SV RAID:%2 Adapter error (Write performance reduced) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味： 書き込み性能が低下しました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： その他のログを参照してこの状態に至った理由を調査し、その指示に従ってください。カードの温度、PCI 電源、書き込み寿命などが原因の可能性があります。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
9	554	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28719 SV RAID:%2 Adapter error (Write operations disabled) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： 書き込み操作が無効です。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： 調査資料 (fjsnap、PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28719 SV RAID:%2 Adapter error (Write operations disabled) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： 書き込み操作が無効です。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： その他のログを参照してこの状態に至った理由を調査し、その指示に従ってください。カードの温度、PCI 電源、書き込み寿命などが原因の可能性があります。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
10	555	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28722</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Internal voltage out of range) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味： 内部電圧が範囲外になりました。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 再発する場合は、調査資料 (fjsnap、 PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28722</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Internal voltage out of range) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味： 内部電圧が範囲外になりました。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 1. 当該カードを交換してください。 2. 再発する場合は、調査資料 (DSNAP, SSG, PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員へ連絡してください。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
11	556	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28723 SV RAID:%2 Adapter error (Auxiliary voltage out of range) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： 補助電圧が範囲外になりました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： 再発する場合は、調査資料 (fjsnap、 PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28723 SV RAID:%2 Adapter error (Auxiliary voltage out of range) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： 補助電圧が範囲外になりました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： 1. 当該カードを交換してください。 2. 再発する場合は、調査資料 (DSNAP, SSG, PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員へ連絡してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
12	556	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28724</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Flashback error) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味 :</p> <p>フラッシュバックエラーが発生しました。</p> <p>%2 : デバイス名</p> <p>%v : 例. 1000</p> <p>%d : 例. 0079</p> <p>%r : 数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 影響のあるアダプターからデータをバックアップしてください。 2. アダプターを交換してください。 3. データをリストアしてください。 <p>Severity :</p> <p>Warning</p> <p>アクション :</p> <p>(R/M/T/S)</p>
			正	<p>28724</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Flashback error) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味 :</p> <p>フラッシュバックエラーが発生しました。</p> <p>%2 : デバイス名</p> <p>%v : 例. 1000</p> <p>%d : 例. 0079</p> <p>%r : 数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処 :</p> <p>当該カードを交換してください。</p> <p>Severity :</p> <p>Warning</p> <p>アクション :</p> <p>(R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
13	556	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28725</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Non-correctable PCI errors detected) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味 :</p> <p>修正不可能な PCI エラーを検出しました。</p> <p>%2 : デバイス名</p> <p>%v : 例. 1000</p> <p>%d : 例. 0079</p> <p>%r : 数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処 :</p> <p>再発する場合は、調査資料 (fjsnap、 PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。</p> <p>Severity :</p> <p>Warning</p> <p>アクション :</p> <p>(R/M/T/S)</p>
			正	<p>28725</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Non-correctable PCI errors detected) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味 :</p> <p>修正不可能な PCI エラーを検出しました。</p> <p>%2 : デバイス名</p> <p>%v : 例. 1000</p> <p>%d : 例. 0079</p> <p>%r : 数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処 :</p> <p>1. 当該カードを交換してください。</p> <p>2. 再発する場合は、調査資料 (DSNAP, SSG, PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員へ連絡してください。</p> <p>Severity :</p> <p>Warning</p> <p>アクション :</p> <p>(R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
14	557	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28727</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Memory is close to wearing out) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味： メモリが減少してきました。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： フォーマットサイズの確認をしてください。小さいサイズでフォーマットすることで、リザーブを解放します。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28727</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Memory is close to wearing out) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味： メモリが減少してきました。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 当該カードを交換してください。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
15	557	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28728</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Non-optimal PCI slot bandwidth) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味 :</p> <p>PCI スロットの帯域幅が最適ではありません。</p> <p>%2 : デバイス名 %v : 例. 1000 %d : 例. 0079 %r : 数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処 :</p> <p>アダプターを適切な PCI スロットに再搭載してください。</p> <p>Severity : Warning</p> <p>アクション : (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28728</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Non-optimal PCI slot bandwidth) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味 :</p> <p>PCI スロットの帯域幅が最適ではありません。</p> <p>%2 : デバイス名 %v : 例. 1000 %d : 例. 0079 %r : 数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処 :</p> <p>1. 当該カードを交換してください。</p> <p>2. 再発する場合は、調査資料(PrimeCollect)を採取して、修理相談窓口または担当営業員へ連絡してください。</p> <p>Severity : Warning</p> <p>アクション : (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
15	558	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28729</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Power loss protection disabled) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味 :</p> <p>パワーロスプロテクションが無効です。</p> <p>%2 : デバイス名</p> <p>%v : 例. 1000</p> <p>%d : 例. 0079</p> <p>%r : 数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処 :</p> <p>調査資料 (fjsnap、 PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。</p> <p>Severity :</p> <p>Warning</p> <p>アクション :</p> <p>(R/M/T/S)</p>
			正	<p>28729</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Power loss protection disabled) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味 :</p> <p>パワーロスプロテクションが無効です。</p> <p>%2 : デバイス名</p> <p>%v : 例. 1000</p> <p>%d : 例. 0079</p> <p>%r : 数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処 :</p> <p>当該カードを交換してください。</p> <p>Severity :</p> <p>Warning</p> <p>アクション :</p> <p>(R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
17	558	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28730 SV RAID:%2 Adapter error (Write regulation activated due to power constraints) vendor-id=%v deviceid=%d revision=%r</p> <p>意味： PCI スロットの電力制限のため書き込みが制限されています。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例.1000 %d：例.0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 調査資料 (fjsnap、PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。</p> <p>Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28730 SV RAID:%2 Adapter error (Write regulation activated due to power constraints) vendor-id=%v deviceid=%d revision=%r</p> <p>意味： PCI スロットの電力制限のため書き込みが制限されています。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例.1000 %d：例.0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 1. 当該カードを交換してください。 2. 再発する場合は、調査資料 (DSNAP, SSG, PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員へ連絡してください。</p> <p>Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
18	559	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28732</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Write regulation activated to ensure adapter lifespan) vendor-id=%v deviceid=%d revision=%r</p> <p>意味： アダプター寿命を保持するため、書き込みが制限されています。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例.1000 %d：例.0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 書き込みの負荷を軽減してください。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28732</p> <p>SV RAID:%2 Adapter error (Write regulation activated to ensure adapter lifespan) vendor-id=%v deviceid=%d revision=%r</p> <p>意味： アダプター寿命を保持するため、書き込みが制限されています。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例.1000 %d：例.0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 本通報は、他の通報要因により間接的に発生している可能性があります。通報が複数ある場合はその対処に従って下さい。他通報の対処を実施しても状況が変わらない場合、もしくは当該通報が単独で発生している場合は、当該カードを交換して下さい。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
19	559	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28733 SV RAID:%2 Adapter error (Running in minimal status) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味： 最小限の状態で作動しています。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例.1000 %d：例.0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 調査資料 (fjsnap、PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28733 SV RAID:%2 Adapter error (Running in minimal status) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味： 最小限の状態で作動しています。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例.1000 %d：例.0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： Driver 版数とカード FW 版数を最新版へ更新してください。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
20	559	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28734 SV RAID:%2 Adapter error (PCI power budget alarm) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味 : PCI 電源異常が発生しました。 %2 : デバイス名 %v : 例. 1000 %d : 例. 0079 %r : 数値 (1 ~ 3 桁) 対処 : 調査資料 (fjsnap、PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。 Severity : Warning アクション : (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28734 SV RAID:%2 Adapter error (PCI power budget alarm) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味 : PCI 電源異常が発生しました。 %2 : デバイス名 %v : 例. 1000 %d : 例. 0079 %r : 数値 (1 ~ 3 桁) 対処 : 1. 当該カードを交換してください。 2. 再発する場合は、調査資料 (DSNAP, SSG, PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員へ連絡してください。 Severity : Warning アクション : (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
21	560	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28735 SV RAID:%2 Adapter error (LEB map missing) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： LEB マップを損失しました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： 再発する場合は、調査資料 (fjsnap、 PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28735 SV RAID:%2 Adapter error (LEB map missing) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： LEB マップを損失しました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： 当該カードを交換してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
22	560	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28737 SV RAID:%2 Adapter error (Reserves depleted) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： リザーブ領域が枯渇しました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： フォーマットサイズの確認をしてください。小さいサイズでフォーマットすることで、リザーブを解放します。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28737 SV RAID:%2 Adapter error (Reserves depleted) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： リザーブ領域が枯渇しました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁) 対処： 当該カードを交換してください。 Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
23	560	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	誤	<p>28738 SV RAID:%2 Adapter error (Attach failed) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： アタッチに失敗しました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 再発する場合は、調査資料 (fjsnap、PrimeCollect) を採取して、修理相談窓口または担当営業員に連絡してください。</p> <p>Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>
			正	<p>28738 SV RAID:%2 Adapter error (Attach failed) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： アタッチに失敗しました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 当該カードを交換してください。</p> <p>Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>
24	561	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	追加	<p>28740 SV RAID:%2 Adapter error (offline due to SMART error) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r 意味： SMART の検出により、当該物理ドライブをオフラインしました。 %2：デバイス名 %v：例. 1000 %d：例. 0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 当該物理ドライブを交換してください。</p> <p>Severity： Warning アクション： (R/M/T/S)</p>

No.	ページ	箇所	内 容	
25	562	3.1.20 ServerView RAID 関連メッセージ [Windows] (28500 ~ 28739)	追加	<p>28741 SV RAID:%2 Adapter error (offline due to too many unexpected sense events) vendor-id=%v device-id=%d revision=%r</p> <p>意味： ディスクエラーの多発により、当該物理ドライブをオフラインしました。</p> <p>%2：デバイス名 %v：例.1000 %d：例.0079 %r：数値 (1 ~ 3 桁)</p> <p>対処： 当該物理ドライブを交換してください。</p> <p>Severity： Warning</p> <p>アクション： (R/M/T/S)</p>

8 『PRIMEQUEST 1000 シリーズ 用語集・略語集』 (C122-E116)正誤表

2015/1/14

本書の記述に誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

No.	ページ	箇所	内 容	
1	3	[F]	追加	FCoE Fibre Channel over Ethernet の略称です。SAN (Storage Area Network) と LAN (Local Area Network) をイーサネットで統合することを目的に考え出されたプロトコルです。

9 『PRIMEQUEST 1000 シリーズ REMCS サービス導入マニュアル』 (C122-E120)正誤表

2014/6/3

本書の記述に誤りがありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

No.	ページ	箇所	内 容							
1	Vi	略称	追加	<table border="1"> <thead> <tr> <th>正式名</th> <th>略称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter</td> <td>Windows Windows Server 2012</td> </tr> <tr> <td>Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	正式名	略称	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Windows Server 2012	Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	
正式名	略称									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter	Windows Windows Server 2012									
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard										

以上